



第76期 年次報告書

平成28年4月1日

>>> 平成29年3月31日

BUSINESS REPORT



日本出版貿易株式会社

証券コード：8072

私たちは文化事業を通じて、国際社会に貢献します

株主の皆様には、平素より格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中、個人消費に持ち直しの動きがみられ、企業の業況判断も概ね改善するなど、緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、世界経済においては米国の金融政策正常化の影響、中国を始めとするアジア新興国の経済の先行き、金融資本市場の変動の影響など、不確実性がより高まっており、予断を許さない状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループは、得意分野である語学教材、雑貨・文具、音楽CD等をその専門商社として積極的に市場へ投入するべく、国内外における出版各社、主要メーカー、及び流通業者との協業を最優先課題とし、取り組んで参りました。海外事業部門では、欧米における取引先や海外子会社を中心に学術専門書、日本語テキストなどの和書出版物、音楽CD、日本製の良質な雑貨・文具、伝統工芸品等の販売を行いました。また、東南アジアにおいて、現地需要の高まりによるキッチン用品、ネイルケア商品の新たな販売事業が伸び、売上面では、概ね堅調に推移したものの、円高基調による影響を受け、減収となりました。国内事業部門では、英語テキストにおいて海外出版社数社と代理店契約を締結した事により、販路が拡大し、大幅増収となりました。また、東南アジアからの留学生が増加したことにより、日本語テキストの販売も堅調な推移を見せております。加えて、量販店、ホームセンター向けの書籍と雑貨の融合販売も引き続き好調を維持し、大きな事業となりつつあります。また、海外子会社はフランス子会社の清算や円高基調等の要因により売上、収益ともに不調に終わったことから、営業利益は減少、円高の影響により為替

差損が発生したことで経常利益の減益幅はより大きくなりました。

その結果、当連結会計年度の売上高は83億9千万円（前連結会計年度比2.8%減）、営業利益7千7百万円（前連結会計年度比27.3%減）、経常利益6千8百万円（前連結会計年度比41.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3千8百万円（前連結会計年度比60.2%減）となりました。

当社の経営理念「私たちは文化事業を通じて、国際社会に貢献します」のもと、社員一同気持ちを新たにし80周年、100周年に向けて国際社会に貢献する文化産業企業としての使命を果たして参ります。当社グループでは更に全社的に一層の売上拡大と経費節減を徹底することにより利益を確保し、株主の皆様方の期待に応えるべく役職員一同業務の向上に努める所存でございます。

株主の皆様方におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月



代表取締役社長
綾森 豊彦



JPTイチオシ情報

オムニバス／テレマン作品集 50枚組

今年はテレマン没後250周年。バッハ、ヘンデルと並んでバロック時代の3大作曲家のひとりです。テレマンはバッハと交友がりましたが、作風は全く異なります。聴衆が好むような曲を作り人気を得たテレマン。実は当時、バッハより人気があったと言われて

います。今の日本では考えられないことです。代表作「ターフェル・ムジーク」以外にも色々な楽器を駆使した親しみやすい楽しい音楽がいっぱい。多くの方々に知ってほしい作曲家です。ぜひ今年、じっくり聴いてみませんか。



オムニバス／イントゥー・ザ・ブルー

ジャズ史に数多くの歴史を刻んだ名門レーベル、ブルーノートの魅力凝縮した3枚組オムニバス・アルバム。マイルス・デイヴィス、ジョン・コルトレン、アート・レイキー、ケニー・バレル、ホレス・シルヴァー、ポール・チェンバースといったジャズ界の巨匠達が繰り広げる迫力の名演、全45曲を収録。

録音から半世紀という長い年月を経た今もなお、世界中の音楽愛好家を魅了して止まないジャズの感動を現代のリマスタリング技術で蘇らせた決定盤。



日本出版貿易株式会社 (JPT) が異文化 交流の架け橋となる国際ネットワーク

海外での事業活動

当社及び当社グループは、創立以来、わが国の優良出版物をはじめ音楽・映像ソフト及び伝統文化的な雑貨やクールジャパン商品などを海外の大学図書館、世界の国々で活躍する日系在留邦人、日本研究機関、日本人学校などへ輸出するとともに、海外から

も洋書、音楽CD及び雑貨などを輸入してきました。現在、このような事業は、当社と海外主要拠点に配置した当社の子会社、関連会社などを結んだ国際ネットワークを通じて、活発に行われています。

JPTグローバルネットワーク

JPT EUROPE LTD.

2000年英国ロンドンの三越内に書店として設立。2013年9月三越閉館に伴い単独の路面店として移転オープン。現在は店舗経営だけでなく日本語教材・語学書、英文書、音楽ソフト、日本雑貨品などの卸販売の拡販を推進しています。欧州地域市場の開拓と日本語学書の拡販の成果で経営は堅調に推移しています。

●住所：24-25 Denman Street, London W1D 7HU, U.K.



株式会社日貿出版社

水墨画・水彩画等の趣味、実用書を中心に出版を行っており、全国の書店や海外からも好評を得ています。

●住所：東京都文京区本郷5-2-2

海外事業部トピックス Sanko Kitchen Essentials グランドオープン

当社の米国における展開の一例として、“Sanko Kitchen Essentials”をご紹介します。サンフランシスコ市のジャパントウンに位置するこの店舗は、日本の伝統的な陶器やキッチン雑貨を長年販売してきた“Sanko Cooking Supply”を2016年に事業継承したもので、今年4月、内装と商品を一新し、新たなスタートを切りました。生まれ変わった店舗の内装は白と木目を基調とし、シンプルでコンテンポラリーな雰囲気の中、日本らしい趣きも感じさせます。アメリカのライフスタイルとも相性の良さを感じさせる和モダンなデザインの陶器や、機能性とデザイン性の両面を兼ね揃えたキッチン雑貨等、老若男女様々な方々のニーズに応える選りすぐりの逸品を扱っております。

また、Sanko Kitchen Essentialsは“桜まつり”にも参加致しました。桜まつりは毎年4月にジャパントウンにて開催される、20万以上の人々が来場するイベントで、今

JPT AMERICA, INC.

1962年設立以来、当社の米国拠点として日本語教材・語学書、和書籍・和雑誌、日本文化関連英文出版物、ファッション文房具、紙製品、デザイングッズ、音響・映像ソフトなどの卸販売を行っています。また、米国製品の日本への輸出、情報収集と本社駐在業務など重要な役割も担っています。

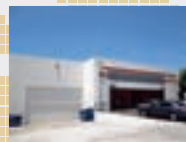
●住所：1760 Buchanan Street, Suite 1, San Francisco, CA94115, U.S.A.



L.A. Office

日本との輸出入貨物の窓口としての貨物転送業務やニューヨークなど東部地区と南カリフォルニア市場への卸営業を行っています。

●住所：243 E. Redondo Beach Blvd., Gardena, CA90248, U.S.A.



HAKUBUNDO, INC.

ホノルルを拠点とする和書籍・和雑誌、日本伝統品、文房具、日本語関連出版物、音楽・映像ソフトの小売と卸販売を行っています。2015年11月20日に新店舗を開店しました。

1号店 ●住所：1050 Ala Moana Blvd Suite #1270

Honolulu, HI 96814, U.S.A.

新店舗 ●住所：1200 Ala Moana Blvd #649

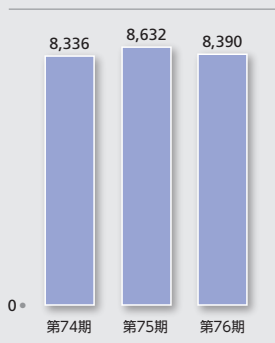
Honolulu, HI 96814, U.S.A.



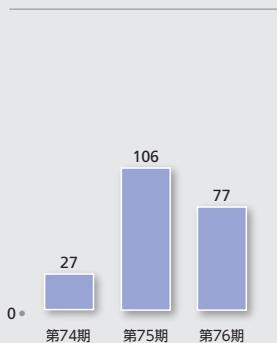
年で50周年を迎えました。店舗ではグランドオープンと時期が重なったことから、特別セールを行い、大きな賑いを見せました。イベント運営委員会へは、50周年のロゴをプリントした盃を記念品として供給し、イベントに貢献致しました。これからも地域に根ざした活動と、近隣のレストラン、ホテル、公的機関への卸売を継続するとともに、米国市場での更なる日本製食器の浸透を目指し邁進して参ります。



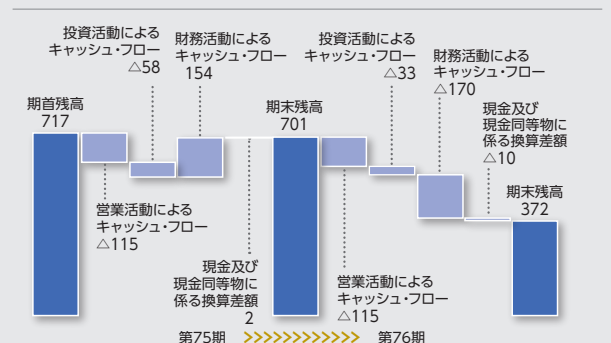
売上高 (百万円)



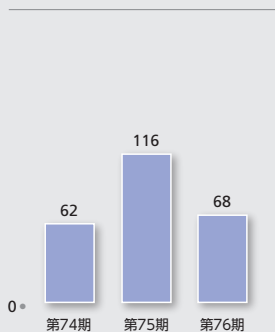
営業利益 (百万円)



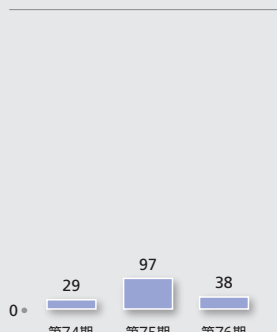
キャッシュ・フローの状況 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



財務コメント

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度の資産合計は、前連結会計年度に比べ3億7千1百万円減少し、60億4千3百万円となりました。これは主に流動資産で、現金及び預金が3億2千9百万円及び受取手形及び売掛金が9千8百万円減少したことが要因です。借入金の約定返済により現金及び預金が減少しております。

当連結会計年度の負債合計は、前連結会計年度に比べ3億4千万円減少し、46億8百万円となりました。これは主に流動負債で支払手形及び買掛金が1億4千4百万円及び短期借入金が9千2百万円減少したことが要因です。資産について記載した通り借入金の約定返済により短期借入金が減少しております。

当連結会計年度の純資産合計は14億3千4百万円となり前連結会計年度に比べ3千1百万円減少しております。

投資有価証券の時価評価により有価証券評価差額金が8百万円減少しております。

以上の結果、自己資本比率は23.7% (前連結会計年度末は22.8%) となり、0.9ポイント増加しております。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度における現金及び現金同等物 (以下「資金」という。) は、前連結会計年度末より3億2千9百万円減少 (前連結会計年度は1千6百万円の資金の減少) し、当連結会計年度は3億7千2百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は1億1千5百万円 (前連結会計年度は1億1千5百万円の資金の減少) となりました。

これは主に、税金等調整前当期純利益6千5百万円、減価償却費5千万円を計上したものの、たな卸資産が5千2百万円増加し、仕入債務が1億4千万円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

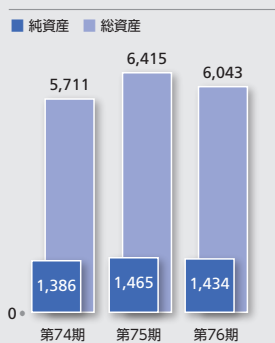
投資活動による資金の減少は3千3百万円 (前連結会計年度は5千8百万円の資金の減少) となりました。

これは主に、無形固定資産の取得に2千2百万円を支出したことによるものであります。

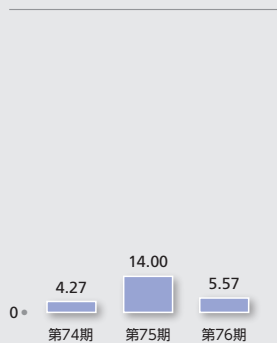
(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1億7千万円 (前連結会計年度は1億5千4百万円の資金の増加) となりました。これは主に借入金の約定返済により長期借入金が1億2千2百万円減少したことによるものであります。

純資産／総資産 (百万円)



1株当たり当期純利益 (円)



出版物・雑貨輸出事業

セグメント別
売上高構成比率

売上高 ● 1,316 百万円 (前期比5.9%減)

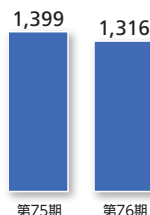
営業利益 ● 19 百万円 (前期比57.4%減)

当期の概況

全般的な円高傾向の中、売上の中核となる、書籍や日本語教材、文具雑貨販売などは、概ね堅調に推移いたしました。CD輸出販売においては、市場全体の縮小の影響により、大型新譜の発売が大きく減少したことで、低調に終わりました。また、海外大学図書館市場においては、雑誌の休廃刊、並びに電子化の影響と、図書館予算の削減や円高要因などにより、大幅な減益となりました。一方で、新たな商材として販売促進しているキッチン用品、ネイルケア商品などは、アジアを中心に売上也順調に伸びており、今後の主力商品として販売強化して参ります。利益面では、円高の影響により原価率が悪化し、減収と相俟って売上総利益が減少したことが大きく影響し、営業利益は減少となりました。

その結果、当部門の売上高は13億1千6百万円(前連結会計年度比5.9%減)、営業利益は1千9百万円(前連結会計年度比57.4%減)となりました。

売上高の推移 (百万円)



メディア事業

セグメント別
売上高構成比率

売上高 ● 2,839 百万円 (前期比2.4%減)

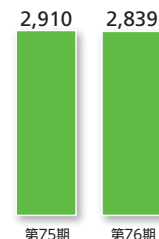
営業利益 ● 33 百万円 (前期比336.3%増)

当期の概況

主力の輸入CD販売については、国内音楽市場の冷え込みが厳しさを増す中、大手レコード店とタイアップしたプライベート商品の制作強化や、自社オリジナル商品の新たなラインナップの投入を図って参りましたが、厳しい市況の中、売上の改善までは見られず減収となりました。一方で、大手雑貨店向けの音響関連商品の販売が好調なことに加え、新たな事業として開始した、オンライン英会話学校との協業によるデジタル事業や、ネット販売事業者への商材供給が順調に推移している観点から、引き続き成長性の高い分野への事業投資を積極的に注力して参ります。利益面では、全般的な円高による原価の改善や、昨年来より継続した値上げ効果が寄与した点、営業費や広告宣伝費の大幅な見直しによる経費圧縮に努めたことにより増益となりました。

その結果、当部門の売上高は28億3千9百万円(前連結会計年度比2.4%減)、営業利益は3千3百万円(前連結会計年度比336.3%増)となりました。

売上高の推移 (百万円)



洋書事業

セグメント別
売上高構成比率

売上高 ● 3,433 百万円 (前期比0.5%増)

営業利益 ● 61 百万円 (前期比19.3%増)

当期の概況

主力商材である英語テキストについては、既存の大学マーケットにおける売上が堅調に推移したほか、中学・高校の学校市場や、英語塾・英会話学校など新たなマーケット販売先も拡大いたしました。また、東南アジアを中心とした留学生の増加を背景に、日本語テキストの販売も順調に推移しており、輸入雑誌の売上が低調であったものの、これらテキスト教材全体の好調な販売により増収となりました。利益面では、利益率の低い商品群からの撤退を実施したことや、輸入コストの削減に大いに努めた結果、原価率が改善したことによって、営業利益が増収となりました。

その結果、当部門の売上高は34億3千3百万円(前連結会計年度比0.5%増)、営業利益は6千1百万円(前連結会計年度比19.3%増)となりました。

売上高の推移 (百万円)



不動産賃貸事業

セグメント別
売上高構成比率

売上高 ● 68 百万円 (前期比14.6%減)

営業利益 ● 32 百万円 (前期比21.9%減)

当期の概況

本社でのテナント事業は、1社テナントの退出の影響を受け、営業利益が減少いたしました。テナントの募集を継続中であります。

その結果、当部門の売上高は6千8百万円(前連結会計年度比14.6%減)、営業利益は3千2百万円(前連結会計年度比21.9%減)となりました。

売上高の推移 (百万円)



株式の状況 (平成29年3月31日現在)

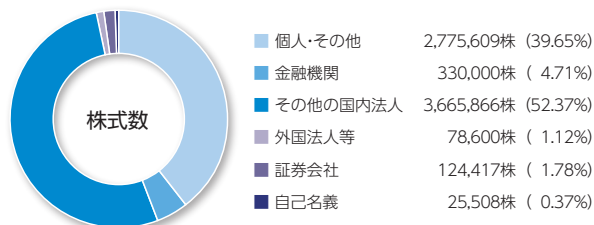
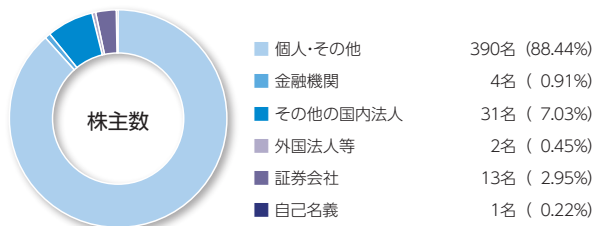
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,000,000株
株主数(自己名義除く)	440名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社トーハン	1,500,000	21.50
中林 三十三	844,000	12.10
丸善雄松堂株式会社	700,000	10.03
株式会社講談社	554,000	7.94
ファーストインベスターズ株式会社	241,000	3.45
株式会社三井住友銀行	240,000	3.44
タスマン株式会社	200,000	2.86
日本出版貿易取引先持株会	166,000	2.38
濱田 聖史	164,000	2.35
宮脇 範次	148,000	2.12

(持株比率は、自己名義株式を控除して計算しております。)
(持株比率は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。)

所有者区分別株式分布状況



会社概要 (平成29年6月28日現在)

商号	日本出版貿易株式会社
代表者	代表取締役社長 綾森 豊彦
創立	昭和17年1月28日(1942年)
資本金	430,000,000円
従業員数	113名
本社所在地	〒101-0064 東京都千代田区猿楽町一丁目2番1号
営業所	大阪営業所 〒532-0011 大阪市淀川区西中島三丁目12番15号 第5新大阪ビル503号 九州営業所 〒810-0022 福岡市中央区薬院四丁目5-2 ARKヴィラ薬院206号
事業内容	書籍、雑誌等一般出版物、学術文献、各種教材、音楽関連ソフト及び雑貨品等の輸出入並びに国内販売。不動産の賃貸及び管理。

役員・監査役

代表取締役社長	綾森 豊彦	取締役 林 恭彦
常務取締役	近藤 隆一	常勤監査役 宮川 修
常務取締役	吉澤 和宏	監査役 片岡 義正
取締役	松並 恒次	監査役 志村 真嗣

子会社・関連会社

JPT AMERICA, INC.

JPT EUROPE LTD.

HAKUBUNDO, INC.

株式会社日貿出版社



ホームページのご紹介



当社では、会社案内をはじめ取り扱い商品、IR情報の他、様々な情報をお伝えするホームページを開設しています。是非、ご覧下さい。

日本出版貿易

検索

 <http://www.jptco.co.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
期末配当金受領株主確定日	3月31日
公告の方法	当社の公告方法は、電子公告といたします。 公告掲載URL http://www.jptco.co.jp/ (ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない時は東京都において発行される日本経済新聞に掲載いたします。)
株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711（通話料無料） 〔受付時間 9:00～17:00（土、日、祝祭日、年末年始を除く）〕 ホームページ http://www.tr.mufig.jp/daikou/

ご注意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

 **日本出版貿易株式会社**

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町一丁目2番1号
TEL: 03-3292-3751 <http://www.jptco.co.jp/>

